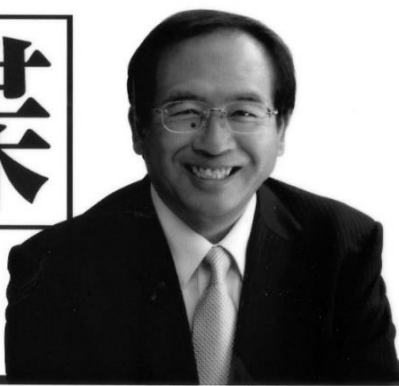


雑木蝶



三宮ゆきお後援会

北本市西高尾 1-259 TEL.FAX.048-592-1376
E-mail:sangu@salsa.ocn.ne.jp

さん ぐう 三宮ゆきお

新潟県柏崎市西山町生（故 田中角栄氏同郷）
法政大学大学院 社会科学研究所政治学修了
北本市立北小・南小助教諭・教諭
北本市教育委員会市史編さん室長
平成27～29年度 北本市議会議長

縄文の森を守れ!

デーノタメ遺跡

森の番人

オオタカ



全国のこの10年間に発見された遺跡の中で、いまだこの遺跡をしのご遺跡はない!
文化庁から、「国指定史跡を目指していただきたい」と言われた大変稀有な遺跡!

指標(メルクマール)となる遺跡

学者により、発見当初から「100年に一度の大発見」と称されたのがこの遺跡です。

その発見から、10年を経た今、様々な新発見により、大学や国の関係専門機関の中で、国の特別史跡、「三内丸山遺跡」や「吉野ヶ里遺跡」とそん色ない遺跡であると評価されています。文化庁調査官をして「全国には、年間8,000件の遺跡発掘の報告があるが、10年間、8万件の遺跡の中で、いまだこの遺跡をしのご遺跡はない」と言わしめた遺跡です。

また、この遺跡は、縄文時代の中期から後期の空白期を埋める指標(メルクマール)となる遺跡としても大変高く評価されています。



市長公約違反! 実は記録保存?

市長は、その公約である政策集に「北本市の財産であるデーノタメ遺跡の保存整備、既存の雑木林を残して緑地の保全を困ります」と載せています。

就任以降も、「デーノタメ遺跡シンポジウム」の満席の聴衆の前で三回「国の史跡を目指します」と挨拶しています。文化財保護課も新設しました。

これを受け、文化財担当者は、幾度となく文化庁へ足を運びました。文化庁の調査官も北本に出向き、市長に会い、現場の視察も終わっていました。

ところが、29年夏ごろには、この方針を一転しました。公約撤回の背景に何があったかは判りません。

9月議会で、遺跡の「記録保存」という言葉も出てきました。学者は、記録保存と遺跡破壊を同義語とみています。

また、ここ数年、南部地域の雑木林も次々と伐採されています。公約は、選挙目当てのパフォーマンスだったのでしょうか。

政治家の公約は、命の次に重いものです

史跡	時代区分	遺跡名	代表的漆工品
国指定	縄文前期 (6000-5000)	福井県鳥浜貝塚遺跡	赤色漆塗櫛
特別史跡	縄文中期 (5500-4000)	青森県三内丸山遺跡	日本最大級の縄文集落、漆塗土器
(協議?)	縄文中期-中期 (5000-3800)	埼玉県北本市デーノタメ遺跡	漆塗土器、漆塗糸、木胎漆器
国史跡	縄文時代晩期 (3000-2400)	青森県是川遺跡	藍胎、漆塗土器

国の史跡とした場合に想定される主な経費

(買い上げ価格はマックスで試算)

内容	金額	財源内訳		
		国費	市費	摘要
史跡買上げ	38.7億	31億	7.7億	国 4/5
史跡整備	4億	2億	2億	国 1/2
ガイダンス施設建設	3億	1.5億	1.5億	国 1/2

まち

づくりに活かす発想を!

デーノタメ遺跡を観光の目玉に

請願趣旨 報告書の刊行を待ち、市民や学者の知見を得てから方向性を決めること

全会一致で採択

デーノタメ遺跡時系列表

年月日	行政(市長)の主な動き	文化財関係者の主な動き	議会の主な動き
27.4.26	・現王園市長、デーノタメ遺跡保全を公約(政策集)に掲げて初当選		
5		・文化庁と協議(一回目)	
10		・文化庁と協議(二回目)	
28.2.26	・現王園市長、教育長他 4 名で遺跡内最大の面積を持つ地権者宅訪問		
4		・文化庁と協議(三回目)	
6		・文化庁と協議(四回目)	
10		・文化庁調査官視察(二回目)	朝日新聞(2018.7.31)
29.2.1	・第一回シンポジウム 文化センター大ホールの満席の聴衆の前で市長は三回「国の史跡を目指します」と挨拶		
4.1	・文化財保護課新設		
5	・この頃、デーノタメ基金創設指示	・文化庁と協議(五回目) 國學院大學、千葉大学より評価	クルミ状土器(全国2例目)
8	市長一転方針転換? 「庁内調整会議」に丸投げか		
11		・文化庁調査官視察(三回目) 確認調査の成果、地形確認	
6.21	・久保区画整理事業及びデーノタメ遺跡に係る影響額試算表(議会へ配布)	アリバイ作りの資料か! 遺跡を残すためには、西仲通り線を迂回させなければならない。迂回には事業費が莫大にかかる。結果「遺跡の保存は、現実的ではない」という結論を導く資料?	有志議員14名による勉強会「試算表」の問題点を指摘 ・文化庁主任調査官と面談(議員有志)
8.22			
8.23			
8.24	・「行政経営会議」が開かれる。市の最終判断は、国の史跡を目指さず「記録保存」とするという方針(うわさ?)であったが、 急きょ延期?	・県埋蔵文化財担当者2名、北本市を訪れ教育長 etc 面談	9月議会請願 前回一致採択 1 デーノタメ遺跡の報告書が刊行された後、市民の意見や専門家の知見の集約をすること。 2 行政は「デーノタメ遺跡」の学術的な見地からの活用について慎重に検討すること。
8.28		・文化庁と協議(六回目) 緊迫した話し合いがあった模様、詳細は不明	
9.26	・9月議会での執行部答弁は、「出来るだけ早く、判断したい」という事		
11.16			・沼津市 高尾山古墳視察 総務文教常任委員会



アリバイ作りの資料か!
遺跡を残すためには、西仲通り線を迂回させなければならない。迂回には事業費が莫大にかかる。結果「遺跡の保存は、現実的ではない」という結論を導く資料?

有志議員14名による勉強会「試算表」の問題点を指摘
・文化庁主任調査官と面談(議員有志)

9月議会請願 **前回一致採択**
1 デーノタメ遺跡の報告書が刊行された後、市民の意見や専門家の知見の集約をすること。
2 行政は「デーノタメ遺跡」の学術的な見地からの活用について慎重に検討すること。

雑感 デーノタメ遺跡の請願は通りましたが、依然予断を許さない状況は続いています。市長が前言を翻し、記録保存という考えを捨てたわけではないからです。文化庁の調査官は、事の事態に驚愕の表情を浮かべていました。全く相談されていなかったのです。同様に、これまで指導をいただいた関係機関にも知らされていませんでした。このことを、本来諮る機関であろう、教育委員会や文化財保護審議会にも議案として乗せていないのです。全国の研究者がかたずをのんで見守っているこの遺跡、行政という内輪だけで記録保存と決めて良いのか、まちづくりに活かす発想はないのか多に疑問です。

磯田道史著 「日本史の内幕」より
私は高尾山古墳を訪れた。それは、卑弥呼と全く同世代の西暦 230 年頃の古墳。破格の大きさ、卑弥呼のライバルともいえるべき東国の王(狗奴国?)の古墳だ。市民運動により保全の方向へ!